

多摩市文化芸術ビジョン検討委員会 第6回 要点録

開催日時・場所	令和5年5月31日(水) 18:00~20:20 多摩市役所301会議室	
参加委員	参加委員7名 学識経験者：伊藤裕夫氏 市民委員：石坂氏、岩佐氏、柴田氏、新倉氏、西村氏、渡邊氏	
出席職員	くらしと文化部長、文化・生涯学習推進課長、事務局4名	
主な内容	開会	資料の確認
	次第1	前回の振り返り
	次第2	多摩市文化芸術将来ビジョンについて
	次第3	閉会にあたり
議題	主な意見（●事務局、◎委員長、○委員）	
次第1 前回の振り返り	①前回の要点録について確認。委員会として承認した。 ②前回委員会の内容の振り返り	
次第2 多摩市文化芸術ビジョンについて	<p>●資料 24 多摩市文化芸術ビジョン</p> <p>●資料 25 今後の流れについて</p> <p>①資料25：今後の流れについての要点を説明</p> <p>②資料24：表紙の絵は削除、表紙及び裏表紙に策定年月を明記した旨説明</p> <p>◎ 写真があると写真のイメージがビジョンの印象に影響を与えるので削除した。本日が最後の委員会となるので、意見をいただくときはなるべく具体的な代案をお願いしたい。</p> <p>≪4・5ページについて≫</p> <p>●P5 下段網掛け部分「途切れることなく」を削除し、「いつでも」を追加した旨説明。解説も同様</p> <p>○ P4 上段の解説は、「街の姿を意味しています」よりも「街の姿を表している」の方が良いのではないか。「表現している」というような形の方がしっくりくる。「意味している」は固い印象がある。以降も同様。</p> <p>◎ 「姿を表しています」で統一する。またP5上段の解説は「繋がり」と漢字表記だが、他の箇所はひらがなのので統一を。</p> <p>○ P4上段の解説は「意識することなく」の表現必要か。子供たちが自然とのめりこむイメージが良いのではないか。</p> <p>○ 前回の議論で修正した箇所である。</p> <p>○ 「ふと気がつけば」を削除してはどうか。</p> <p>○ リード文の「気づいたら」を削除するか。</p> <p>○ 気づいたら文化芸術に触れている、というのは確かに違和感ある。恐らく文化芸術が町の中にあふれているというイメージだが。</p>	

- 「自然に」という文言でどうか。
- ◎ リード文の「気づいたら」は削除。解説は「ふと気が付けば」を削除。
- 文化芸術活動は自分から選択することが多い。前回の議論で「無意識に」というのを削除したが、「意識することなく」はほぼ同じ意味である。
- 「自然と親しんでいる」という表現ではどうか。
- 能動的にやる必要がある。
- 意識することなく触れることもあれば、意識的な場合もある。
- ◎ 「意識する、意識しないにかかわらず」ではどうか。
- 堅苦しいので、文言がなくてもよいのではないか。
- ◎ 厳密にするなら「意識する、意識しないにかかわらず」、漠然とするなら「自然に」の文言。
- ◎ 「意識する、意識しないにかかわらず」でよろしいか。

P4.上段【解説】～修正後～

人々は、日常を過ごしているだけで、日ごろから文化芸術に触れており、意識する、意識しないにかかわらず親しんでいます。

多様な分野で様々な表現活動が行われており、その活動に参加・体験したい人や鑑賞・享受したい人に、文化芸術活動の情報が届き、生活の一部として自然に文化芸術に親しめる街の姿を表しています。

- ◎ P5下段の解説は、「乳幼児から大人まで」とあるが、他の箇所は「乳幼児期から」の表現である。
- ◎ 「乳幼児期」にするのなら「成人期まで」が良い。
- P5上段の解説は、「日常的なことにする必要があり」は表現が固い。「乳幼児期から日常的のものにすることで」はどうか。P4も同様。
- P5上段の解説は、「日常的なものにするようなことで～」で文章調整。
- P5上段の解説は、「成長になくってはならない」は必要か。強く言い切っている。
- あった方がよい。昨今の世間の風潮として、音楽の授業が減っているなど、文化芸術を多少ないがしろにしている。あえて決意表明のように強く

言い切るほうがよい。

《6 ページについて》

●P6 上段について説明

- ・「繋がり」はひらがなに（ビジョン内全てひらがなで統一）
- ・解説「…へと成長していく…」→「…にもなっていく…」に修正

○ 6ページ上段部の文章は、主語がない。その下の解説部は「人々」が主語なので、同様の意味という理解で良いか。そういうことなら、そのまま上段の文章には主語が無い方が、シンプルで良い。

◎ その通りである。6ページ下段は多少漢字が多くて難しいが、しょうがない。

《7 ページについて》

●P7、下段、解説について追加・修正箇所を説明

- ・人だけでなく→人と体験する人をつないだり
- ・表現活動を～ための→削除

○ P7の下段の解説は、「キャッチコピーの考案」、「ポスター・チラシの作成」、「動画撮影」、「司会進行」は、表現活動を行う際の色々な機会があるうちの一例である。冒頭に、「例えば」という表現をつけて例示としてはどうか。

○ 例示が数多くあるので、「例えば」を入れなくても例示として示されている気がする。

○ もう少しぼやかしても良い。

○ 代案がないが、ここだけ言葉の粒度が細かい。例示をなくして、「さまざまな技能や専門性を持つ人」だけにすると、少し漠然としすぎる。

○ 自分の持っている技術を使って助けたり、というようにした方がよい。

○ 文化団体連合の場合、一般の人がサポートをしている。そうした方の努力が生かされるように例示の表現をもう少し広げてはどうか。この表現だと意味が限定されすぎている。

○ 「表現活動を自ら行う人と体験する人をつないだり、彼らを支援する人、周辺で活動する人のスキルが活かされる街」としてはどうか。あるいは後半に（キャッチコピーの考案 やポスター・ チラシの作成 、 動画撮影、 司会進行など）として、例示するか。

○ 文化団体連合はこのような表現活動の担い手が活躍できるような支援人

	<p>材を必要としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現活動の担い手の裏方のイメージなのか。</li> <li>○ それにさらに加えて、広い意味合いである。</li> <li>○ 司会進行は、その表現活動をどのように見せるかにおいて、とても重要。</li> <li>○ 極端な話、事業のチラシを配布する人でも良い。</li> <li>○ 表現活動の担い手、照明などの裏方、ポスターを作成する人、配布する人、SNSでシェアする人、様々な意味合いを含んでいる。</li> <li>○ 専門的なスキルを持つ人材とサポーター人材を意味している。</li> <li>○ 技能や専門性がなくてもできることがある。</li> <li>○ そういう人材がいて、表現活動が成り立つ。裏方が支えていることをイメージしてもらいたい。</li> <li>○ この文章は、そもそも表現活動の担い手に向けて解説しているのか、サポートする人材に向けているのか。</li> <li>○ 表現活動の担い手と、裏方となり得る市民の両方に向けた文章である。</li> <li>○ 裏方や、様々なスキルを持つ人、チラシを配布する人等をまとめてこのような人材という区分で表現できたら良い。</li> <li>○ 表現活動の担い手にはなれないけど、表現活動をサポートする側にもなれるということである。</li> <li>◎ 表現活動の担い手を中心に、裏方の人材もあるというイメージか。</li> <li>○ 現在の記述だと表現活動の担い手を支援する人材を表す部分がない。もう少し増やした方が良い。また、ここには市外の人もはっているのか。解説冒頭には「市民の得意なこと」という表現があるが。</li> <li>◎ 必ずしも市民に限定しているわけではない。</li> <li>○ 具体的な記述は削除した方がすっきりする。</li> <li>○ P4下段の解説で、「その活動を受け止め楽しんでいる人々がいます」だけではサポートする人材の記述は不足しているのではないか。</li> <li>○ 不足している。表現活動の担い手にはサポートする人材がいた方があり</li> </ul>
--	---

がたい。

- ◎ 「彼らを支援したり、体験する人をつないだり、専門的な技能やスキルを持った人が活躍できることが可能な街。」という表現でどうか。
- 7ページ下段リード文については、「人々」を削除して、「文化芸術が多様な人によって振興している」でどうか。
- ◎ リード文はそのようにする。解説部は、「表現活動を行う際」を削除し、「表現活動を自ら行う人はもちろん、彼らを支援したり、体験する人をつないだり、多様な市民が、文化芸術に参加できる街を表しています」とする。
- 参加という言葉が良い。
- ◎ 一度先に進んで、後で意見があれば言ってほしい。

《3 ページについて》

---

- P3修正点について説明。
  - ・表題の「べき」を削除
  - ・（目指す姿については）「くらし」を主語にした。
  - ・解説についての、文章の修正点を説明。
- P3 文化芸術ビジョンの目指す姿の箇所、「ビジョンであり目指す姿」とはいかがなものか。
- ◎ 「ビジョン」、「目指す姿」はほぼ同じ意味である。
- 多摩市文化芸術ビジョンのみで良いのではないか。
- ◎ P2 には「将来像」もある。「目指す姿」、「ビジョン」、「将来像」みな同じ意味。重複しなくても良い。
- P4 にも「ビジョンの目指す姿」とあるが、これも重複している。
- ビジョン、で区切ってはどうか。P4 表題は「ビジョンの具体的なイメージ」とする。
- P3 はビジョンの概要にするか。
- ◎ 概要にすると、今後策定していく計画で、ビジョンを前提に策定してほしいので、ここで限定したくない。計画が目指す将来像。概要と言い切ると、P4以降の概要になってしまう。ビジョンは、全体を包含したイメージ。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビジョンが何を指しているのかという部分もある。そのままでも良い。</li> <li>◎ ビジョンが目指す姿ではどうか。</li> <li>○ てにをはの指摘になってしまうが、「ビジョンの目指す姿」でも良い。</li> <li>○ P4 のタイトルは、「ビジョンの具体的なイメージ」で区切って良い。</li> <li>○ P3 のタイトルはそのままでも良い。</li> <li>○ P3 のタイトルはそのままにして、上段角丸四角部のタイトルは削除。重複している。多様な文化～をハイライトさせてはどうか。</li> <li>○ 下段角四角部解説のタイトルも、「解説」のみにする。</li> <li>◎ 「解説」のタイトルが必要かということもある。上段はタイトルを削除、下段は「解説」のみにするので良いか。</li> <li>○ 上段のタイトルは残した方が良い。重要な部分である。下段のタイトルを「解説」のみにするのは賛成。解説の最初の 2 行は上段と重複しているので削除。</li> <li>○ その場合、3 行目冒頭、「それは」も削除。</li> <li>◎ 確かにほぼ同じことを記述している。</li> <li>○ 下段の解説で、「文化芸術がみんなに開かれた街」という表現は抽象的。</li> <li>○ 下段は最初の 2 行残した方が、最後の 4 行に展開が繋がっていく。</li> <li>○ 解説の文字数を減らすことは良い。</li> <li>○ 「開かれた街」とは何を表しているのか。</li> <li>○ 「文化芸術が街全体に広がっており、互いの個性を尊重しながら～」としてはどうか。</li> <li>○ 下段 2 段落目、「楽しんでいる姿」が気になる。「楽しんでいる」が良いのでは。</li> <li>○ この文章では、街が主語になっている部分と、人が主語になっている部分で分かれている。</li> <li>◎ 上の段落で街の状態を記述し、それによって人はこうなっている、というように構造を変えた方がすっきりする。1 行目の「雰囲気」が気になる。</li> </ul>
--	--

文化芸術が一般的となり、人々が積極的に関わり、参加し、楽しんでいるというニュアンスが良い。

- 下段部最初の二段落は、「多様な文化芸術を楽しむ日常が街全体に広がっており、互いの個性を尊重しながら、人々が積極的に関わり、参加し、楽しんでいる」としてはどうか。
- 下段部では、「多様な文化芸術」と「様々な文化芸術」4箇所記述されている。1回で良い。
- ◎ 「多様な文化芸術を楽しむ日常が街全体に広がっています。互いの個性を尊重しながら、人々が文化芸術に積極的に参加し、楽しんでいる姿を表しています」として、「表しています」の表現で4ページ以降に合わせる。
- 先に街の姿があって、その次に人の姿という構成である。最初に人ありきで、その結果街が最後に来るというのも良い。後半部を先に持っていくのはどうか。
- ◎ 前回の議論で、人を先に持っていくと強制しているような雰囲気になる、という議論があった。人が先、街が先、それぞれ一理ある。人を先にすると、「人々は互いの個性を尊重し文化芸術を積極的にかかわり、楽しんでいます。多様な文化芸術を親しむ街が広がっています」という構成になる。
- 最後の段落4行を最初に持ってきてはどうか。
- 解説の先頭が乳幼児期から、で始まるのは違和感がある。
- 多摩市みんなの文化芸術条例第3条基本理念に、乳幼児期から高齢者までとあるので、この表現を入れる事は必須であると考える。
- 主語が「全員」ということをどこかに記述した方が良い。乳幼児期から高齢者まですべてを包含するように。「くらしが広がる」というのは少し変な表現である。

(以下、全員で様々な議論を行い、3ページ下段解説は、以下の文章とすることに決定した)

文化芸術は、乳幼児期から親しむことで豊かな感性を育みます。人々が、互いの個性を尊重しながら、日常的に様々な文化芸術に出会い、参加することで、つながりや交流が生まれ、生活の質の向上につながっています。多様な文化芸術に、日常的に親しむくらしが、街全体に広がっていきます。

《「ビジョン策定に当たって」～P2について》

●P2 までの修正箇所を説明

2 将来ビジョンと計画の関係性について

- 本文の「多摩市は…姿であってほしいかを、ありたいか（状態）」と修正。
  - (1) 多摩市文化芸術ビジョン策定・計画等における期間については、「将来ビジョンが目指す姿」を「目指す姿」と修正。
  - (2) 将来ビジョンと計画の関係性のイメージの「アクションプラン」についても「目標・具体的施策」という言葉に修正。
  - また、ピラミッド下の《計画について》の部分も、修正部分を説明。
- 冒頭ビジョン策定にあたっての第四段落で、「乳幼児期から」を「乳幼児から」にした方が良い。
- 賛成
- 全体的に、数字の半角と全角を統一する。
- ◎ P2の記述で、「イメージ」、「将来像」は「目指す姿」と同じ意味である。統一や整理を事務局でされたい。
- 質の高い文化芸術ということを打ち出さなくてよいか。
- ◎ 打ち出すならば、全面的にビジョンの見直しが必要になる。質の定義も必要。根本的なコンセプトの問題になる。決して質をないがしろにするものではないが、ここで見直しすることは難しい。
- P4下段、「プロ」の記述でそれは担保される。
- プロというのはお金をもらえば誰でもプロになる。質が高いというのは別の問題である。
- ◎ 質の担保に関して計画策定委員会への引き継ぎ事項として整理したい。
- P3 下段解説部に、「芸術的価値と社会的価値の好循環が経済的価値を生む」という記述を入れたかったが、そうすると全体を見直さなければならぬので、それも計画の策定委員に引き継ぎたい。「多様な文化芸術に日常的に親しむくらしが街全体に広がっていることが市民の生活の質の向上につながり、その結果として経済的活動が生まれる」という順序をまちがえてはいけないと記録に残して計画策定委員会に引継ぎ事項として整理したい。

《8 ページについて》

●年号及び、説明の箇所に合った「10年」や「将来」等の文言を削除した旨説明

- ◎ P8及び、ビジョン全体について何か意見はあるか。



	<p>○ 生活の質の向上と経済的な価値の議論があったが、本来は雇用も創出されれば良い。まちづくりの活性化も入れたかったので、そこも計画に引き継ぎたい。計画の策定委員会を戦術的に行うのならば、そこをきちっと入れてほしい。市民は多摩市の活性化に期待している。</p> <p>◎ 経済的活動と本物の文化芸術の両立は難しい。大事な問題である。計画の策定委員会への引き継ぎ事項が多くなったがぜひ反映をされたい。</p>
<p>次第3 閉会にあたり</p>	<p>●資料 25 今後の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回でビジョン検討委員会は閉会となるため、ビジョン決定、公開までの流れを説明。</li> </ul>